

## ENSDF グループ平成 22 年度会合議事録

日時 平成 23 年 2 月 18 日 午後 1 時 30 分～3 時 30 分  
場所 原子力機構 システム計算科学センター小会議室  
出席者 片倉純一（原子力機構）、飯村秀紀（原子力機構）  
オブザーバー：大矢進（元新潟大）、喜多尾憲助（元放医研）、橋爪朗  
（元理研）、神戸政秋（東京都市大）

配付資料 各質量数の Nuclear Data Sheets (NDS) の出版年

### 議事：(1) 作業状況の確認

配布資料 (1) により、作業状況の確認を行った。A=121 (大矢) と A=125 (片倉) の NDS が今年度出版された。A=127 (橋爪) は、査読で指摘された部分を訂正しており、数ヶ月以内には、NNDC に訂正原稿を返送出来る。A=118 (喜多尾、神戸) は、評価作業を進めているが、まだ終了まで相当時間がかかる。また、A=120 (橋爪) の評価作業を始めている。

### (2) 評価作業の経験交換

内部転換係数の計算結果をコメント行に記載するようにと査読者から指摘があったので、それについてグループ内で議論した。ENSDF に記載しておけば、NDS に載せるどうかは NNDC が判断出来るので、今後は記載することにした。それに関連して、最近の査読者の方針が昔と違い、コメント行に多くの情報を記載するように言うことが話題となった。ENSDF の記載方法はガイドラインに定められており、それに従うのが基本であることをグループ内で確認した。また、ENSDF での表の書き方を検討した。

### (3) 日本の質量数の分担

4 月に IAEA で開かれる評価者ネットワーク会議のために、日本の現在の分担 (A=120-129) が適切か議論した。その結果、ネットワーク会議では、変更無しで良いと発表することにした。

### (4) 核図表

核図表が 6 年ぶりに昨年改訂された。今回は堀口氏が改訂作業から外れた。次回の出版は来年に予定している。